

【レンタル商品の消費電力を御確認下さい】

ご利用商品によっては、たこ足配線等が原因で電圧が低下する恐れがありますので、ご注意下さい。

電圧が低下すると、商品が正常に動作しない場合がございます。

突然作動しなくなった場合は、建物のブレーカーが落ちた可能性がございます。

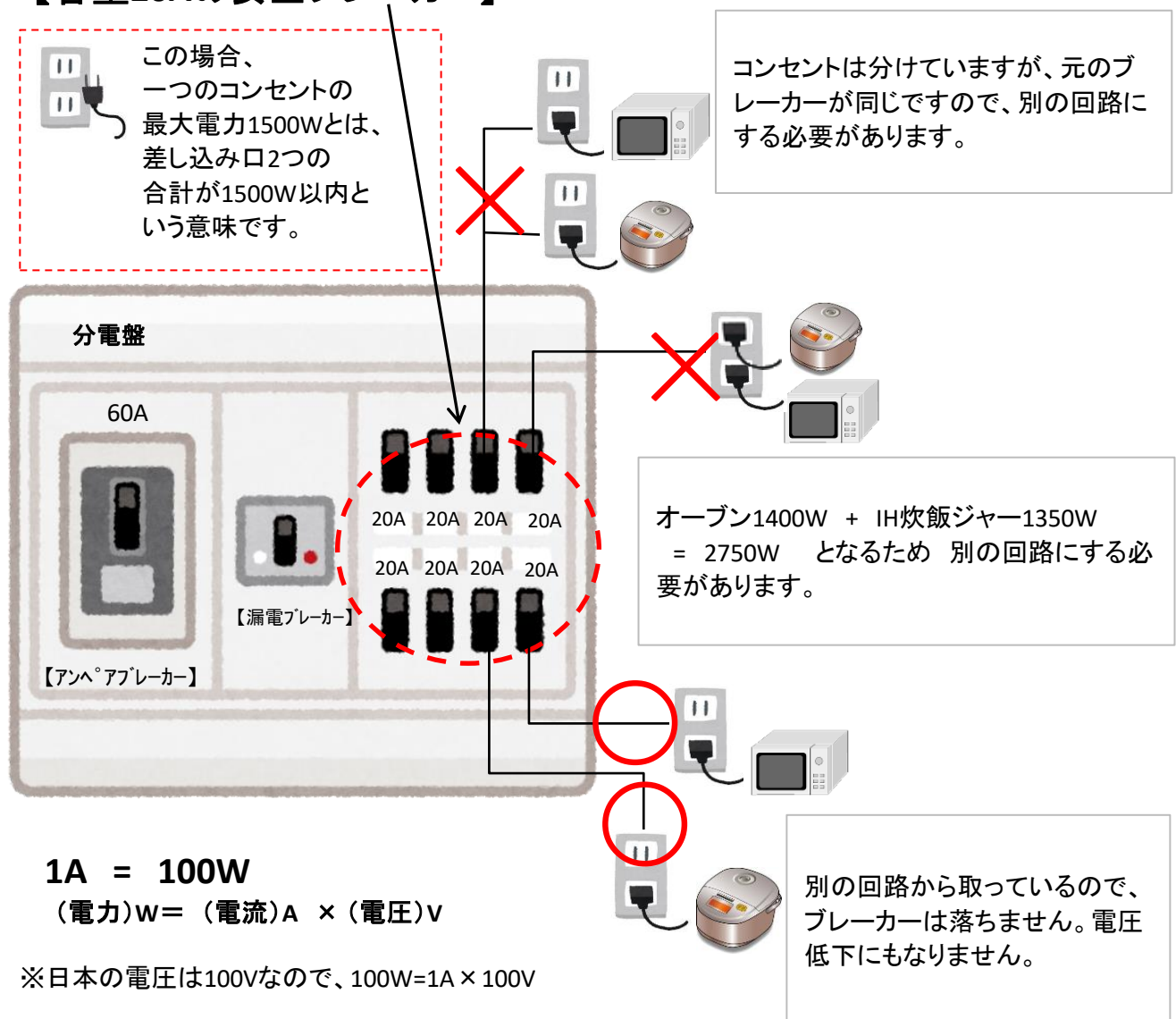
また、一つのコンセントの最大電力は1500Wまでとなります。

複数台の電化製品を使用する場合、コンセントを分けても元となるブレーカーが同じ場合は電圧低下となる可能性が高いです。

その場合、コンセントを分けるのではなく、ブレーカーの回路を分けてお使いください。

商品を正常にご利用いただく為に、お客様の利用環境を御確認ください。

【容量20Aの安全ブレーカー】



HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書別添付

日立ウォータークーラー **屋内用**

冷水・温水兼用タイプ

業務用

型式

アールダブリュー

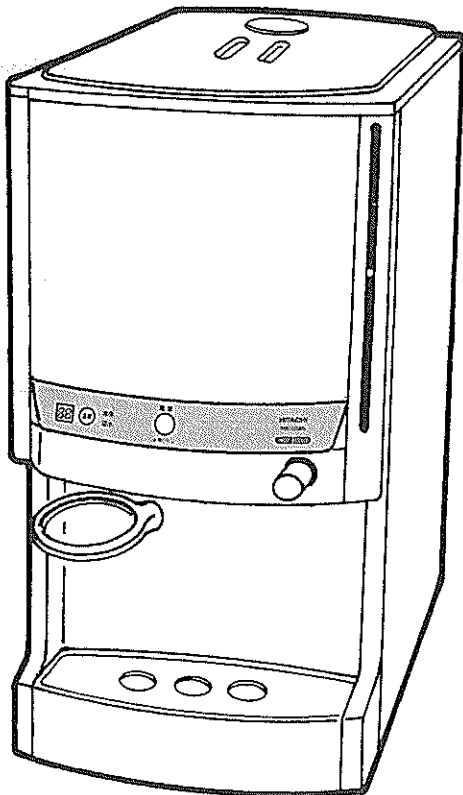
ビー エイチ

RW-129BH

アールダブリュー

ビー エイチ

RW-189BH



(RW-129BH型)

このたびは、日立ウォータークーラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」⇒P.2～3 をお読みいただき、正しくお使いください。



この製品には地球温暖化係数(GWP)が1430のフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、修理・廃棄等にあたってはフロンの回収が必要です。

【冷媒の「見える化」表示について】

この表示は、本製品に温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

目次






- 安全上のご注意.....2～3
 - 据え付け上の注意事項 ●使用上の注意事項
 - 修理時の注意事項
- 各部の名称と働き.....4
- 据え付けについて.....5
 - 据え付け場所について ●放熱のためのすき間について
 - アース接続について
- お使いになる前に.....6～7
 - 取水弁カバー・水位計カバーのはずしかた、取り付けかたについて
 - タンク内の洗浄 ●タンク内の飲物を排出するとき
 - 冷却・加熱する飲物について ●排水方法について
- ご使用方法.....8～10
 - 温度調節のしかた ●運転を自動的に停止するとき
 - 衛生的にお使いいただくために
- 長期間お使いにならないときは.....10
- お手入れと点検について.....11～12
 - お手入れの方法 ●お手入れのポイント
- サービスを依頼されるときは.....13
- 保証とアフターサービス.....14
- 仕様.....15
- 別売品.....15
- お客様ご相談窓口.....16

日本国内用
Use only in Japan









安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。









■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「死亡または重症を負うことが想定される」内容です。	絵表示の例	
 注意	「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。	 「警告や注意を促す」内容のものです。	 してはいけない「禁止」内容のものです。
		 実行していただく「指示」内容のものです。	

■据え付け上の注意事項

 警告	
 厳守	床が丈夫で水平なところに確実に据え付けてください。 転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。
 水ぬれ禁止	水のかかる場所や湿気が多い場所には据え付けしないでください。 絶縁が悪くなり、漏電し感電や火災の原因となります。
 アース設置	アースを確実に取り付けてください。 故障や漏電の時、感電の原因になることがあります。 アース工事は、必ず販売店または専門業者に依頼してください。
 厳守	定格15A交流100Vのコンセントを単独で使ってください。 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
 注意	
 厳守	専用の漏電しゃ断器を設置してください。 お買上げの販売店または専門業者に依頼してください。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
 禁止	油・可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。 万一漏れてウォータークーラーの周辺に溜ると、発火の原因になることがあります。












■使用上の注意事項

 警告	
 禁止	電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差込みがゆるいときは、使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因になることがあります。
 厳守	電源プラグはコンセントに刃の根元まで確実に差込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。 異常発熱や火災の原因になることがあります。
 禁止	電源プラグをウォータークーラーの背面で押し付けしないでください。 電源プラグを傷付け、感電や火災の原因になることがあります。
 ぬれ手禁止	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	本体に水をかけないでください。 電気部品に水がかかると感電や火災の原因になります。
 禁止	定格電圧（单相100V）以外で使わないでください。 定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。
 禁止	製品の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。 転倒・落下によりケガや破損の原因になることがあります。







……安全上のご注意 (つづき)

■使用上の注意事項 (つづき)

⚠警告


	可燃性スプレーを近くで使わないでください。 電気接点のスパークで引火するおそれがあります。
	可燃性ガスなどのガス漏れがあったときには、ウォータークーラーやコンセントには手を触れず、窓を開けて換気してください。 引火爆発し、火災ややけどの原因になることがあります。
	焦げ臭いなどの異常がある場合は、運転を停止して電源プラグを抜き(またはブレーカーを“OFF”にして)、すぐにお買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口にて点検・修理を依頼してください。 異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。
	空気吐出口や空気吸込口に指や棒などを入れないでください。 内部でファンが高速回転しておりますので、ケガの原因になります。 吹出口や吸込口に触らないでください。端面で指をケガするおそれがあります。
	給湯時や排水時にお湯に手を触れないでください。やけどするおそれがあります。
	温水運転時に、ふたや容器などの高温部に触れないでください。やけどのおそれがあります。
	温水運転時、子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わないでください。 やけどのおそれがあります。
	空だきしないでください。感電や火災の原因となる場合があります。
	満水目盛り以上の水を入れないでください。湯がふきこぼれ、やけどのおそれがあります。
	転倒させないでください。湯が流れ出て、やけどのおそれがあります。
	傾けたり、ゆすったり、湯を入れたままで移動しないでください。 湯が流れ出てやけどのおそれがあります。

⚠注意

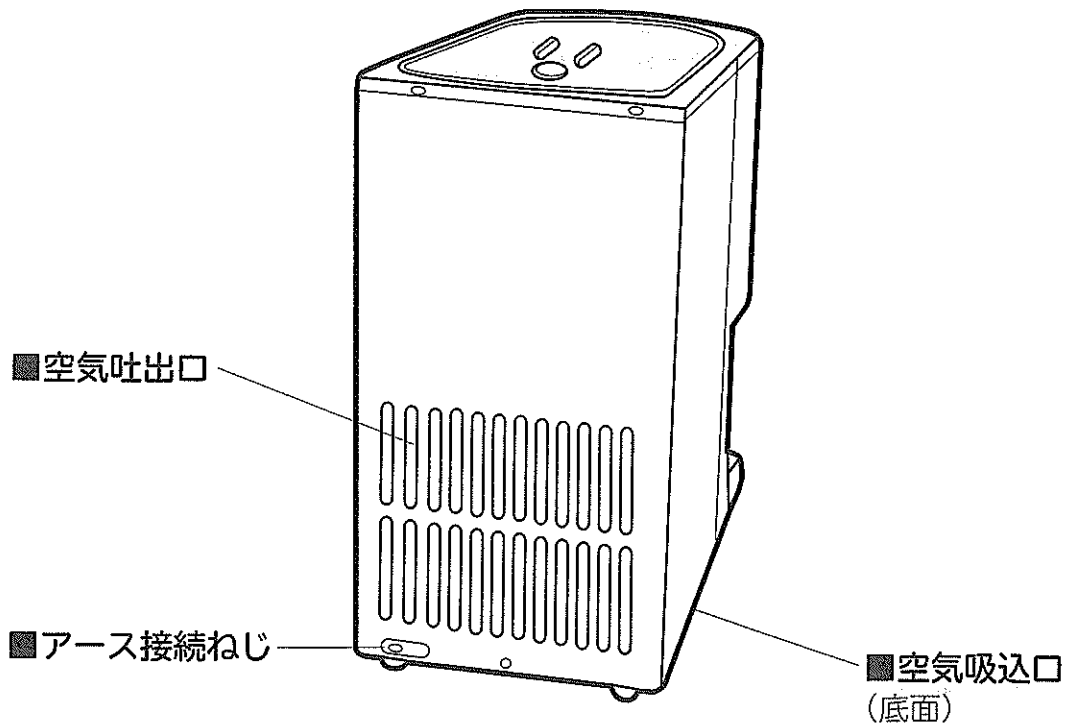
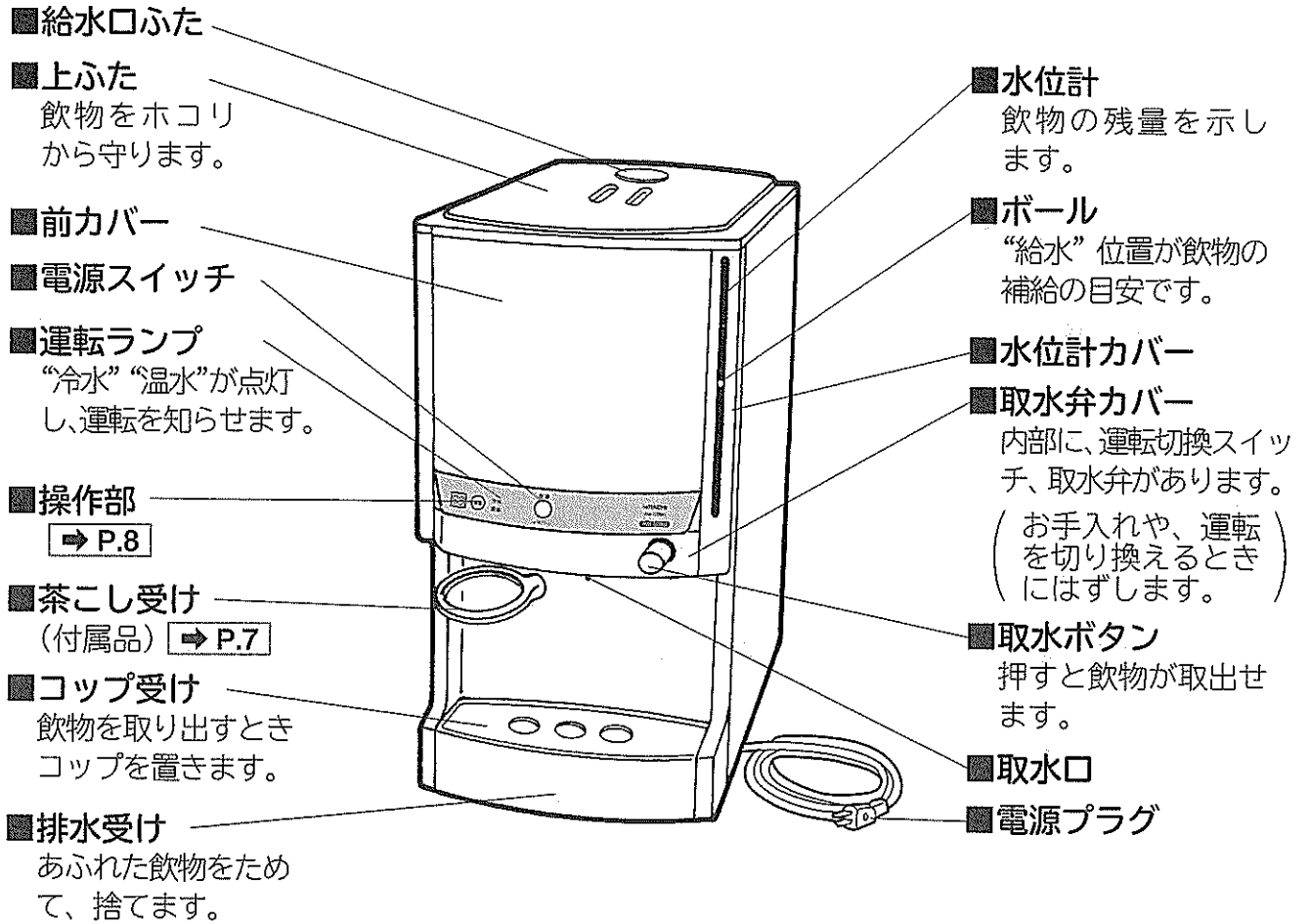
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 感電やショートして発火することがあります。
	タンク内の水は必ず毎日入れ替えてください。 水が腐敗する原因となる場合があります。
	給水源に貯水槽や浄化装置がある場合は、水質にご注意ください。 雑菌により健康を害するおそれがあります。
	牛乳など腐敗するおそれのある飲料は入れないでください。 健康を害するおそれがあります。
	長期間ご使用にならない時は、必ず排水し電源プラグをコンセントから抜いてください。 水の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。

■修理時の注意事項

⚠警告

	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 発火したり、異常動作して、ケガをすることがあります。
---	--

各部の名称と働き



据え付けについて

据え付けにあたっては、ウォータークーラーの質量に十分耐える場所を選ぶとともに、転倒すると危険ですので丈夫で、しっかりした台に置いてください。なお、アースは感電防止のため必ず設置してください。

据え付け場所について

1 床が丈夫で水平なところ

- 据え付けが不安定ですと、振動や騒音の原因になります。
- 温水使用時は転倒しますと危険ですので、しっかりした台に置いてください。
- 正常に動作しないおそれがあります。

2 熱気の少ないところ

- 直射日光やコンロなどの熱影響を受けると、冷却力が弱くなります。
- 周囲温度30℃以下のところに据え付けてください。なお、35℃まではご使用になれますが、冷却力が弱くなります。

3 湿気の少ないところ

- 湿気の多いところや、水のかかるところに据え付けますと、絶縁が悪くなったり、さびたりするおそれがあります。

4 据え付け面が濡れても差し支えないところ

- 湿気が高いときは配管などの表面に露がつき滴することがあります。

5 排水しやすいところ

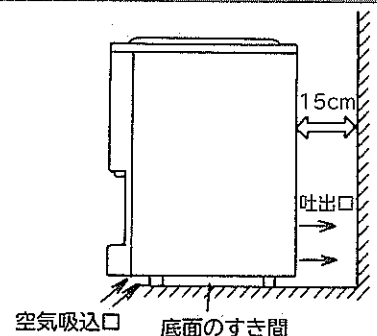
警告

- 水のかかる場所や湿気の多い場所には据え付けない。絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。
- 床が丈夫で水平なところに確実に据え付ける。据え付けに不備があると水漏れ、転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

放熱のためのすき間について

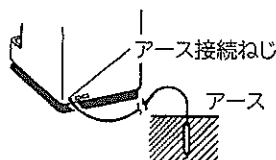
ウォータークーラーの背面は図のように15cm以上のすき間をあけてください。すき間をあけないと冷却力が弱くなり、電気代のむだにもなります。また側面は、共振音が出ないように壁と製品の間を少しあけてください。

図の「底面のすき間」には物などを入れないでください。放熱がわるくなります。



アース接続について

- 万一、漏電した場合の感電防止と機械の保護のために必ず正しいアースをしてください。アースはD種接地工事(電気設備基準で定める接地抵抗100Ω以下のもの)が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。
- アース線は背面にあるアース接続ねじに接続してください。



警告

- アース工事を必ず行う
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。アース工事は必ず、販売店または専門業者に依頼してください。

お使いになる前に

取水弁カバー・水位計カバーのはずしかた、取り付けかたについて

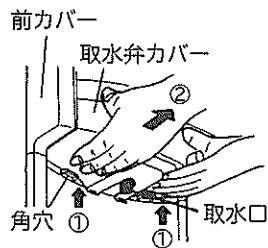
取水弁カバーは次のようなときにはずします。

- 冷水・温水運転を切替えるとき → P.8
- お手入れをするとき → P.11

取水弁カバーのはずしかた、取り付けかた

はずしかた

- ①図のように取水弁カバーの底面を持ち上げて、底面奥の爪2個を前カバーの角穴からはずします。

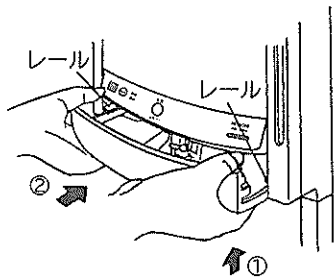


- ②そのまま手前に引き出します。

取り付けかた

- ①前カバーの左右にあるレールの下側に取水弁カバーを押し当てながら、まっすぐ後方へ押し込みます。

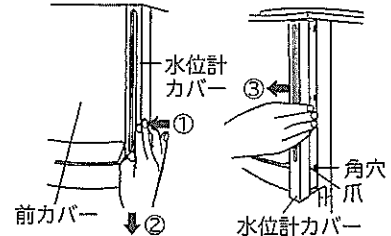
- ②取水弁カバーの爪2個を前カバーの角穴に確実に入れます。



水位計カバーのはずしかた、取り付けかた

はずしかた

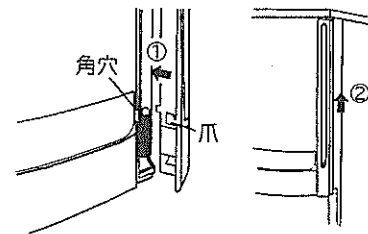
- ①図のように水位計カバーに手をかけます。
- ②水位計カバーの側面中央部を押しながら下にずらします。
- ③そのまま手前に引き出します。



取り付けかた

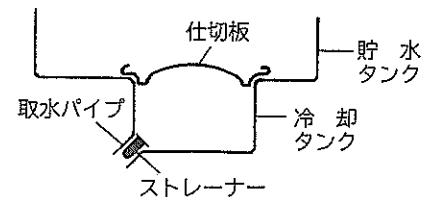
- ①水位計カバーの爪(5箇所)を前カバーの角穴の下端に合わせて挿入します。

- ②“カチッ”と音がするまで上にスライドさせます。



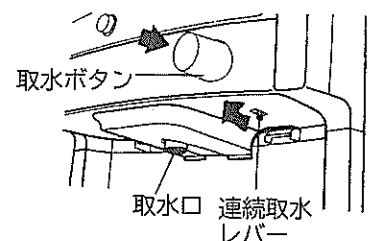
タンク内の洗浄

- ①輸送用テープをはずし、タンク内の仕切板、ストレーナーを取り出し、タンク内を水道水で洗浄します。
- ②仕切板、ストレーナーを洗浄し、タンク内に正しく取り付けます。



タンク内の飲物を排出するとき

- 取水ボタンを押しながら、連続取水レバーを手前に引き、取水ボタンを固定します。
- 取水ボタンを再度押すと、連続取水レバーがはずれ取水ボタンがもどります。



警告

温水運転でお使いのとき、取水口から熱湯が出て危険です。操作に注意してください。

冷却・加熱する飲物について

入れてよい飲物

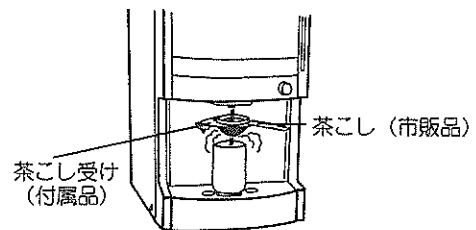
- 飲料水
- 麦茶など
- 果汁飲料(粘度の低いジュース)
- 殺菌乳酸菌飲料

入れてはいけない飲物

- 腐敗しやすいもの(牛乳など)
- 塩分を含むもの(そばつゆ・みそ汁など)
タンクの腐食原因になります。
- 果肉飲料の粘度が高いもの(ネクター・トマトジュースなど)
対流しにくいので冷えが遅くなります。
- 炭酸飲料(サイダー・コーラなど)
気が抜け味が落ちます。またタンクの腐食原因にもなります。
- その他固形分が混入している飲物
取水弁などのつまりの原因になります。

お茶を入れるときは

付属の茶こし受けと市販の茶こしを図のようにセットしてください。



注意

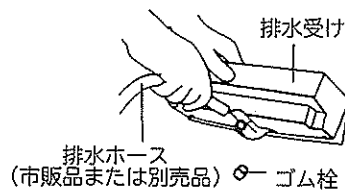
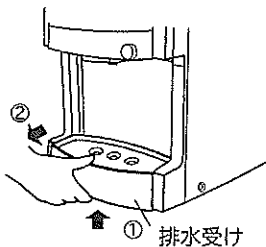
麦茶などは茶こしなどでこしてから入れてください。また、飲料水以外の飲物をご使用の場合は悪臭、水漏れなどの原因になりますので、タンク、仕切板、ストレーナー、取水弁、排水受けを毎日お手入れしてください。(お手入れの仕方は▶P.11)

排水方法について

連続排水する場合

- 連続排水する場合は、次の手順で排水ホースを接続します。排水ホースは市販のビニールホース(内径14~15mm)、または別売の排水ホースをご利用ください。(別売の排水ホースは▶P.15)

- ①排水受けを持ち上げて手前に引き出します。
- ②排水受けのゴム栓を抜いて排水ホースを確実に接続し本体にセットします。



排水受けにためる場合

- ゴム栓を抜かず、そのままお使いください。
- 排水受けが満水(約1ℓ)になったらそのつど捨ててください。

注意

- このウォータークーラーは、内部の結露水を排水受けに導くようになっていますので、排水受けにためてお使いの場合は、溢れないようこまめに捨ててください。
- 連続排水する場合、排水ホースを背面に向かってひき、長さ30cm以上下方にたらしつけてください。また、排水ホースの途中で高低差をつけたり、先端を水中に入れないようにしてください。

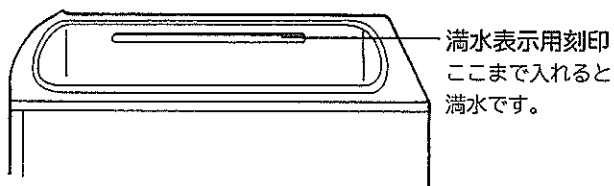
ご使用方法

1 飲物を入れる

上ふたをあけて、飲物を入れます。別売の給水継手を利用することができます。(別売の給水継手は **⇒ P.15**)

ご注意

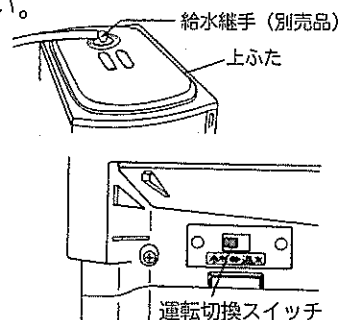
飲物は、水位計の赤ボールを見ながら入れ、“満水”位置以下でとめます。タンク内にも、“満水”表示用の刻印があります。飲物は、“満水”位置より上に入れないでください。



2 “冷水”、“温水”のセット

取水弁カバーの内部に運転切換スイッチがあります。取水弁カバーをはずし、内部の運転切換スイッチを“冷水”または“温水”にセットします。(取水弁カバーのはずしかた **⇒ P.6**)

●運転切換スイッチは、お買い上げ時は“冷水”にセットされています。



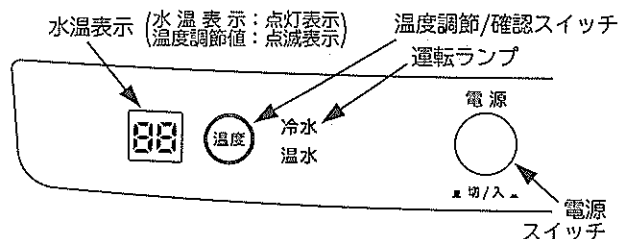
3 電源スイッチを押す

電源プラグをコンセントに挿入し、電源スイッチを押し、“入”にします。運転ランプが点灯し、運転を開始します。

●電源スイッチを“入”にすると、冷水運転の場合約3分後に、温水運転の場合約10秒後に運転を開始します。

●表示部が温度調節値点滅表示中に温度調節値を変更することができます。(温度調節のしかたは **⇒ P.9**)

操作部の名称



飲みごろの温度になるまでの時間

●飲物の冷却 … 冷水運転

30℃ → 約10℃ … 約30分

●飲物の加熱 … 温水運転

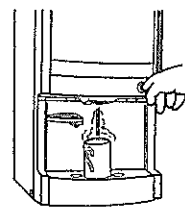
20℃ → 約80℃ … RW-129BH型 約60分
RW-189BH型 約90分

4 飲物の取り出しかた

コップなどをコップ受けの中央に置いて取水ボタンを押します。

警告

温水を取り出すときは、容器を必ずコップ受け中央にある穴の上に置いてください。手に持ったまま給湯しますと、やけどするおそれがあります。



ご注意

●タンク内のストレーナー、仕切板を取りはずしたままで、お使いにならないでください。

●熱い飲物を冷やすときは、室温程度までさましてから、タンク内に入れてください。

●飲物を補給するときは、必ず仕切板を付けたまま補給してください。

●人のいない部屋での長時間の運転はさけ、夜間などご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

●周囲温度やタンク内の飲物の量により、冷却タンク内表面に円筒状の氷ができることがあります。故障ではありません。

●別売の給水継手を使って給水するときは、元の蛇口を徐々にあけてください。上ふたがずれて水が飛散することがあります。

●温水運転から冷水運転に切り換える場合は、飲物を室温程度までさましてから切り換えてください。

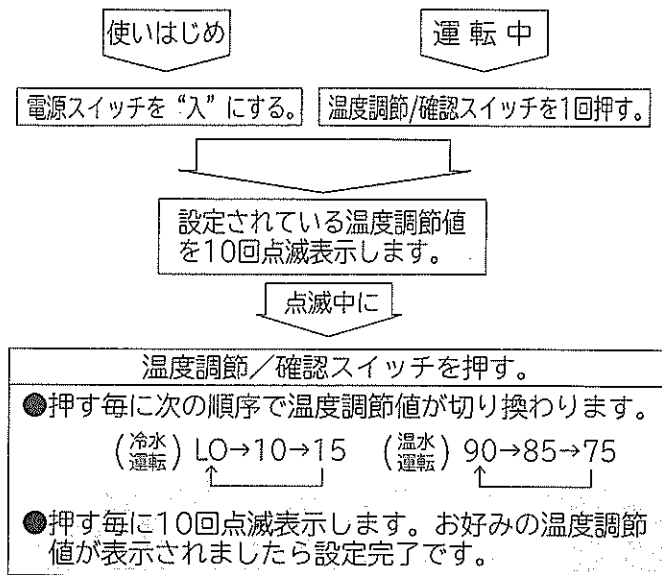
温度調節のしかた

温度調節値は、電源スイッチを“入”にすると次の温度が自動的にセットされます。

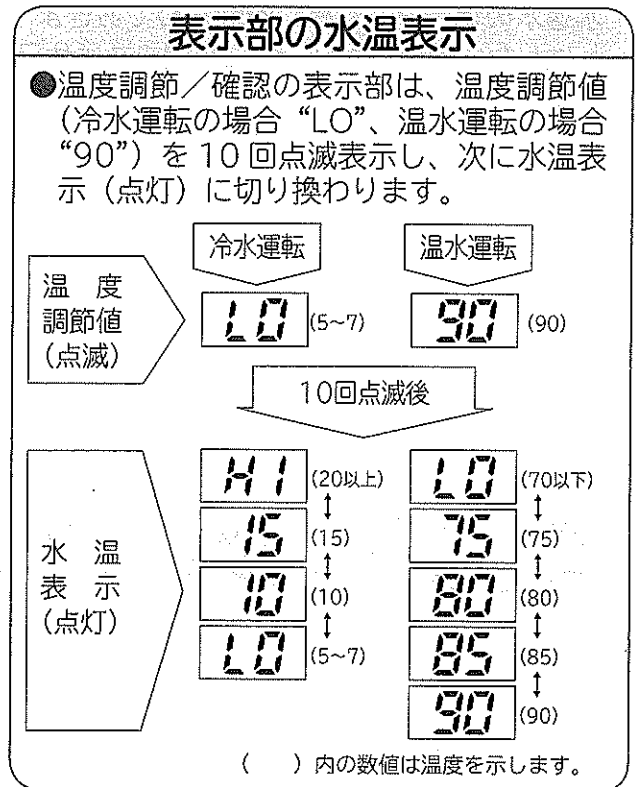
冷水運転時…水温約 5～7℃ (表示部の温度調節値が“LO”の点滅)

温水運転時…水温約 90℃ (表示部の温度調節値が“90”の点滅)

設定を替えたいときは、温度調節/確認スイッチを押して調節します。





- 運転中に温度調節値を確認したい場合は温度調節/確認スイッチを1回押してください。10回点滅表示します。その後水温表示に戻ります。
- ご使用中に停電または電源スイッチを“切”にした場合、温度調節値は冷水運転の場合は“LO”、温水運転の場合は“90”に戻りますのでこれ以外でお使いの場合は再度設定してください。
- 水量や周囲温度などにより表示と水温にずれが生じたり、飲物の取り出しや補給などで急激な水温変化がありますと、表示の切り換わりが遅れたりする場合がありますので、表示は目安としてください。
- 表示は冷却タンク内の水温を基準としています。実際に取り出した飲物の温度は、コップの温度の影響などにより変化しますので、必ずしも表示と一致しません。



運転を自動的に停止するとき

次の場合は、運転ランプが消灯し自動的に運転を停止しますので、電源スイッチを“切”にしてお調べください。

このような表示がでたら……運転ランプは消灯します。

表示部	内容	処置
 (EP) 点滅 (温水運転時のみ)	空炊きを検知し、運転を停止しています。	タンク内に飲物を入れ、その後、電源スイッチを“入”にしてください。運転を開始します。 (ご注意) 飲物を入れずに電源スイッチを“入”にしますと、“dd”表示(点滅)となる場合があります。この場合は上記の処置通りにやり直してください。
 (dd) 点滅	制御部の故障を検知し、運転を停止しています。	お買い上げの販売店にご連絡ください。

衛生的にお使いいただくために

衛生的にお使いいただくために次のことを心がけてください。

■タンク内の飲物は毎日取り替えてください。

衛生的にご使用いただくため毎日飲物を取り替えてください。

水道水の場合でも、長い時間ためておきますとカルキ分がとんで腐敗しやすくなりますので、つぎたしはしないでください。特に夜間または休日などに電源を切る場合には必ず守ってください。

■こまめにお手入れしてください。

タンク内・タンク上面・上ふた・ストレーナー・取水弁・水位計・排水受けなどの流水径路は、不純物が付着しがちです。いつもお手入れをして清潔にしておくよう心がけてください。(お手入れのしかたは [⇒ P.11 ~ 12](#))

●タンクは耐食性のよいステンレスを使用しておりますが、長くご使用になりますと不純物が付着し、さびたように見えることがあります。そのまま放置するとステンレスがさびることがありますので、こまめにお手入れしてください。(お手入れのしかたは [⇒ P.11](#))

長期間お使いにならないときは

長期間お使いにならないときは、電源スイッチを“切”にし、電源プラグをコンセントから抜き、次の処置をして保存してください。

- ①タンク内の飲物を取り出し、取水弁、水位計、ストレーナーおよび仕切板をよく洗い水分をふきとり、タンク内をよく乾燥させてください。
- ②直射日光のあたらない、風通しのよいところに保存してください。ほこりよけの簡単なカバーをかぶせておくと安心です。

お手入れと点検について

お手入れの方法

ウォータークーラーは飲物を入れるものですから、いつも清潔にしておいてください。また長持ちさせるためにも定期的にお手入れしてください。

お手入れするときは、必ず電源スイッチを“切”にして電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本体表面のお手入れ（週に1回程度）

- 柔らかい布でふいてください。
汚れのひどいときは柔らかい布に中性洗剤を入れたぬるま湯を含ませてふいたあと、洗剤分が残らないようきれいな水を含ませた柔らかい布でふきとってください。
- 直接水をかけないでください。
水がかかると絶縁が悪くなったりさびの原因となります。
- 塗装面やプラスチック部品を痛めるため、次のようなものは使わないでください。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・熱湯・たわしなど。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 電源スイッチなど電気部品やその周囲はかたく絞った布でふいてください。

タンク内側のお手入れ（初めてお使いになるときおよび毎日）

- 常に新鮮な飲物をお使いいただくために、毎日食器洗い用洗剤とナイロンタワシなどで清掃し、残った水をきれいなふきんでふきとってください。

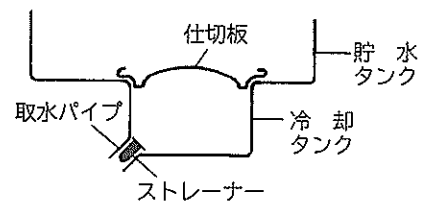
警告

- 濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたりしない。
感電の原因になります。
- 水をかけない。
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。
- 電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふきとる。
ほこりでショートしやすくなり、火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因になります。

お手入れのポイント

タンク・仕切板・ストレーナー（初めてお使いになるときおよび毎日）

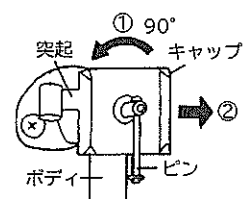
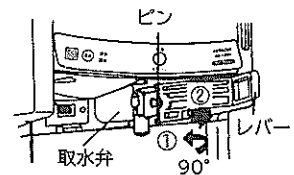
- タンク内・仕切板は衛生的にお使いいただくために毎日食器洗い用洗剤とナイロンタワシなどで清掃してください。耐食性のよいステンレスを使用していますが、長くご使用になりますと不純物が付着しさびたように見え、そのまま放置しますとステンレスが侵されることがあります。不純物がおちにくいときはクレンザーなどで洗浄してください。
- ストレーナーが詰まると水の出が悪くなります。毎日取りはずして水洗いしてください。



取水弁（週に1回程度）

取水弁に不純物が付着すると水切りが悪くなります。また清潔にお使いいただくためにも週に1回程度、次の要領で水洗いしてください。

- ① タンク内の飲み物を取り出します。
- ② 取水弁カバーをはずします。（はずしかたは **⇒ P.6**）
- ③ レバーを約90°手前に回転させ、そのまま右へスライドさせて、ピンからレバーをはずします。
- ④ キャップを反時計方向に90°回して、手前に引き抜きます。



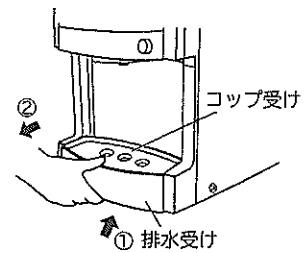
警告

- キャップをはずすときは、タンク内の飲物を完全に抜いてください。
熱湯が残っていると、やけどするおそれがあります。

……お手入れと点検について (つづき)

コップ受け・排水受け (週に1回程度)

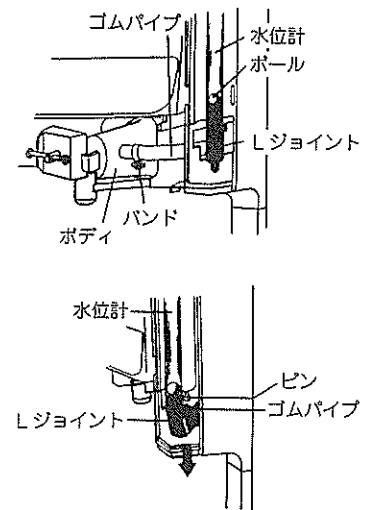
- 常に清潔にお使いいただくために、週に1回程度水洗いしてください。
- 排水受けに水をためてお使いの場合は、溢れないように水を捨ててから、水洗いしてください。



水位計 (月に1回程度)

月に1回程度、次の要領で内部を水洗いしてください。水洗いには、別売のブラシを利用すると便利です。(別売りのブラシは [➡ P.15](#))

- ①タンク内の飲物を取り出します。
- ②水位計カバーをはずします。(はずしかたは [➡ P.6](#))
- ③取水弁カバーをはずします。(はずしかたは [➡ P.6](#))
- ④取水弁のボディからバンドをゆるめてゴムパイプを引き抜きます。
- ⑤前カバーのピンから、Lジョイントを引き、水位計、Lジョイント、ゴムパイプをはずします。このとき水位計の中にあるボールをなくさないようご注意ください。



警告

- ゴムパイプをはずすときは、タンク内の飲物を完全に抜いてください。熱湯が残っていると、やけどするおそれがあります。

定期点検 (年に1、2回)

安心してご使用いただくために、半年～1年に1度定期的に次のような点検を行ってください。そのときもしご不審な点がありましたら、すぐお買い上げの販売店にご連絡ください。

- 電源プラグは、コンセントにしっかり入っていますか。
- 電源プラグに異常な発熱などありませんか。
- 電源コードにき裂や、すり傷がありませんか。
- 本体底面の空気吸入口、背面の空気吐出口周囲にほこりなどがたまっていませんか。
- アース線は切れたり接続が緩んでいませんか。

サービスを依頼されるときは



故障かな？

故障かなと思ったら
まず次のことをお調
べください。

●下記のことをお調べになり、それでも
具合の悪いときは、すぐにお買い上げ
の販売店店か、弊社お客様相談窓口
にご連絡ください。

こんなときは	ここを確認してください	直しかた	
運転しない	電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	
	停電やヒューズ、ブレーカーが切れていませんか。	ヒューズが切れている場合は、新しいヒューズと交換してください。ブレーカーが“OFF”になっている場合は、“ON”にしてください。	
	電源スイッチが“切”になっていませんか。	電源スイッチを入れてください。	
よく冷えない よく温まらない	周囲温度が35℃以上になっていませんか。(冷水運転時)	周囲温度が35℃を超えないようにしてください。	
	直射日光があたったり、近くにコンロやレンジなどありませんか。(冷水運転時)	直接熱が当たらないようにしてください。	
	周囲のすき間は適切ですか。	ウォータークーラーの背面は15cm以上すき間をあけてください。	
	本体底面の空気吸込口、背面の空気吐出口をふさいでいませんか。(冷水運転時)	ふさがないようにしてください。	
	本体底面の空気吸込口、背面の空気吐出口にほこりや紙くずがたまっていますか。(冷水運転時)	ゴミを取り除いてください。	
	飲物を補給したばかりではありませんか。	少々お待ち下さい。 飲みごろの温度になるまでの時間が冷水運転で約30分、温水で約60分～90分かかります。 ➡ P.8	
	タンク内の仕切板が正しく取り付けられていますか。	仕切板を取り付けてください。 ➡ P.6	
	温度調節が“15”(冷水運転)、“75”(温水運転)になっていませんか。	温度調節値を変更してください。 ➡ P.9	
電源スイッチが“切”になっていませんか。	電源スイッチを入れてください。		
音がうるさい	据え付け面がしっかりしていますか。	床が丈夫なところで使用してください。	
	据え付け面が悪くガタついていませんか。	床が水平なところで使用してください。	
	ウォータークーラーに何か物が触れていませんか。	ウォータークーラーの周りにすき間をあけてください。	
水がにおう	水道水に含まれる塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。		
	使い始めは、樹脂などのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。		
その他	飲物があふれる	満水目盛以上飲物を入れていませんか。	満水目盛以下に、飲物を減らしてください。
	水が流れるような音がする	異常ではありません。これは冷凍サイクルの中で冷却液が流れる音(シュー)です。	
	氷が出来る	異常ではありません。冷水運転をしているとき、冷却タンクの内表面温度は0℃以下になりますので円筒状の氷が生成することがあります。	
	沸騰しているような音がする	異常ではありません。これはやかんなどでお湯を沸かすとき沸騰する前に出る音と同じです。	
	タンク底部の色が変わる	異常ではありません。温水運転をしているときタンク底部のヒーター取付部が高温になるための現象で性能及び寿命には影響ありません。	
タンク底部に溶接跡	異常ではありません。これはタンク底部に温水用のヒータを取り付ける為の跡であり性能及び寿命には影響ありません。		

仕 様

この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

型 式		RW-129BH	RW-189BH
タ ン ク 容 量 (L)		12	18
外 形 寸 法 (mm)		幅300×奥行505×高さ540	幅300×奥行505×高さ600
定 格 電 圧 (V)		100	
定 格 周 波 数 (Hz)		50/60共用	
定 消 電 格 費 力	冷 水 (W)	176/190	
	温 水 (W)	650/650	
性 能	冷 水 (L/h)	7/8	
	温 水 (°C)	約75~90 (冷却タンク内温度)	
製 品 質 量 (Kg)		20	20.5
付 属 品		茶こし受け…1個	

- 定格消費電力および性能は周囲温度30℃、入口水温度30℃、出口水温度10℃のときの値です。
- /で示す数値は左が50Hz、右が60Hzの値です。
- 本仕様は日本国内の使用においてのみ適用するものです。

別 売 品

■ 次の部品を購入する場合は、必ず販売店にお使いのウォータークーラーの型式をご指定のうえ、専用の部品をお買い求めになってください。

こんなとき	商品名	商品型式	希望小売価格
上ふたを取り付けた状態で直接給水するとき	給水継手	RW-125B 024	300円 (税別)
水位計の清掃をするとき	ブラシ	RW-124B 013	300円 (税別)
連続排水するとき	排水ホース	RW-125B 013 (ホース長さ 1,500mm)	400円 (税別)

- 上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

◆◇ ウォータークーラー・給茶機 返却時の手順 ◇◆^A

返却する物 茶こし・茶こし受け



1. 箱の底部分の上に、本体を載せて下さい。



2. 写真のようにコップ受けに電源コードを入れて下さい。



3. タンク内に茶こしと茶こし受けを入れて下さい。



茶こし



茶こし受け



4. 本体上に取扱説明書を載せて下さい。



5. 箱を上から被せて下さい。

◆◇ ウォータークーラー・給茶機 返却時の手順 ◇◆^A

返却する物 茶こし・茶こし受け



6. 出荷伝票(写真左上)下のビニール封筒の中の返却用着払い伝票を貼り付け位置に貼って送り返してください。(写真右下)



7. 同封のPPバンド1本で留めて下さい。

この度はご利用頂きましてありがとうございました m(_)_m

梱包時PPバンドの使用方法

①



輪をつくる。

②



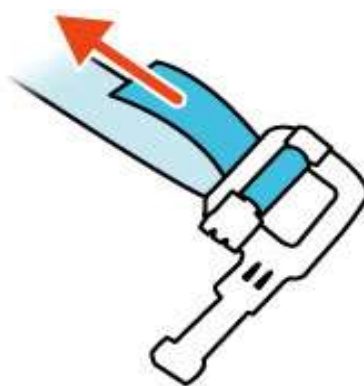
作った輪をストッパーに通す。

③



1本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方の
バンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、
しっかり締める。



手順を参考にしても分からない場合は、
動画でも確認できます。

QRコードまたは下記リンクから
ご視聴ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=8Zeju--OkI4>